

小さなビオトープからはじまる人と自然のネットワーク

2023年夏号 (No.40)

NPO 法人 ビオトープネットワーク京都

# News Letter

事務局 〒607-8423 京都市山科区御陵山ノ谷34-1

Tel 080-4974-1270

E-mail [biotopenetwork.kyoto@gmail.com](mailto:biotopenetwork.kyoto@gmail.com)

ホームページ [biotopenetkyoto.g1.xrea.com](http://biotopenetkyoto.g1.xrea.com)

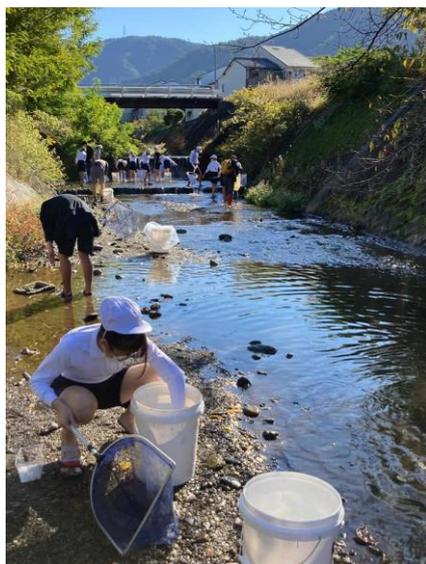
## 2023年度通常総会が終わりました

2022年で設立20周年を終えることが出来ました。SDGsが注目されている現在、環境分野を中心に活動を続けて来られたことは大きな意味があり、社会に対して一定の貢献が出来たものと感じております。

20年間支え続けて下さった方々に厚く御礼申し上げます。

みささぎの森では、新型コロナのオミクロ

ン株や前年度の土砂災害の影響も残るなか、春と秋のフェスタの開催、陵ヶ岡小学校、安朱小学校の環境学習の受け入れをおこない、新たな活動に向けての動きを活発にした1年でした。



川の生き物調査では京都市の“生き物探偵団”の中で過去最多の5つの小学校と生き物調査を実施することが出来ました。まちなかオアシスの“東山いきき市民活動センター”のビオトープは、当年度を持ちまして、施設側に全て移管させていただきました。また御池ビオトープでは、コロナ禍でもあり、参加スタッフの健康管理に留意して継続し定期に取り組みました。

宇治地区はで、宇治市立南部小学校の南部の森のひょうたん池のビオトープ施工を行い、冬場の調査では生き物の生育が確認出来ました。

	正会員	準会員	賛助会員	計
会員数	22人	24人	2人	48人

特定非営利法人ビオトープネットワーク京都

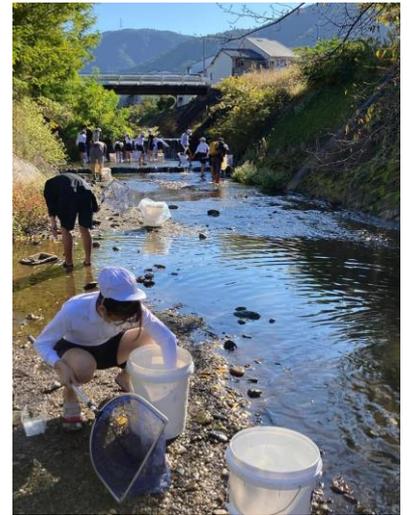
理事長 中辻英克

第4号議案			
2023年度予算案			
2023年4月1日～2024年3月31日			
特定非営利活動法人 ビオトープネットワーク京都			
	2022年度決算額	予算額	備 考
<b>I. 収入の部</b>			
1. 会費収入	116,000	142,000	
入会金	1,000	8,000	2名×3000円、2名×1,000円
年会費	105,000	124,000	24名×3,000円、26名×2,000円
賛助会費	10,000	10,000	2口×5,000円
2. 事業収入	213,330	250,000	
まちなかオアシス事業	0	0	
宇治地区環境教育事業	11,100	5,000	
みささぎの森事業	37,230	110,000	里山授業参加費、物販
水質・生物調査事業	165,000	70,000	イベント参加費
SDGs事業	0	5,000	参加費他
交流事業	0	0	
情報提供事業	0	10,000	
広告・宣伝事業	0	50,000	
3. 寄付金等	71,200	50,000	
運営寄付金等	71,200	50,000	
使途指定寄付金	0	0	
4. 雑収入	2	2	
受取利息	2	2	銀行利子
その他収入	0	0	
5. 繰越金	409,456	505,545	
収入の部計	809,988	947,547	
	2022年度決算額	予算額	備 考
<b>II. 支出の部</b>			
1. 事業費	153,098	207,000	
まちなかオアシス事業	20,000	17,000	御池一資材費、交通費
宇治地区環境教育事業	7,000	5,000	宇治市立南部小学校
みささぎの森事業	28,784	40,000	講師代、資材費、苗代
水質・生物調査事業	69,700	40,000	遊漁券、交通費、講師代
SDGs事業	0	20,000	活動費
交流事業参加事業	0	15,000	イベント参加費(リモート含む)
情報提供事業	14,088	20,000	
広告・宣伝事業	0	50,000	パンフレット
経費	13,526	0	
2. 管理費	198,594	198,000	
事務局人件費	120,000	120,000	事務局人件費(パート賃金)、会計処理費、情報提供料等
通信費	33,942	35,000	電話料金、郵便代
接待交際費	18,980	3,000	
会議費	0	1,000	お茶代
事務消耗品	0	5,000	パソコン備品、会計ソフト
備品消耗品	2,631	5,000	
保険代	13,841	20,000	スタッフ傷害・賠償保険料
諸会費	8,000	8,000	自然復元協会、日本生態系協会、自然環境保全京都府ネットワーク
支払い手数料	0	0	
減価償却費	0	0	
その他	1,200	1,000	租税公課、雑費
3. 予備費	0	470,458	
4. 短期借入金返済	0	0	
5. 納税引当金	0	0	
6. 繰越金	505,545	0	
支出の部計	857,237	875,458	

## 京都市生き物探偵団事業 山科川生き物調査

10月26日(水)今年最後の京都市の生き物探偵団事業で、音羽川小学校の6年生と川の生き物調査です。10月末になると、朝晩冷え込み、水の中に足を入れると思わず「冷たい」と声が出てしまう水温です。

しかし、快晴で、カワムツやヨシノボリなどのお出迎えがあり、生徒達はすぐに生き物採りに夢中になっていきました。ゲンジボタルの幼虫が数匹採れたのは少し驚きました。採取した生き物は直ぐ横の学校で名前を調べました。小学校の思い出に残る授業になってくれたら嬉しいです。



## 9月13日(火)山科川(音羽川)川の生き物調査 音羽川砂防堰堤



京都市の生き物探偵団事業で、大塚小学校の4年生と川の生き物調査です。昨年は天候が悪く実施できず、今年も二度流れて心配でしたが、心地よい秋風が吹く絶好の日和の中で行うことができました。3クラスを1クラスずつ、各2限を使って実施。どのクラスもみんな熱心で、採取に詳しい生徒も多く、沢山の生き物が採れて私たちも楽しい時間を過ごすことができました。カエルはトノサマガエル、ツチガエル、カジ

カガエル(幼体)、ニホンアカガエルの4種。河川敷を歩くと、たくさんのハンミョウが飛び立つ状態にビックリ。クラスの特色があって毎回新鮮で充実した1日でした。

## 3月7日(火)陵ヶ岡小学校 里山学習 in“みささぎの森”



最終回(第5回)は、みささぎの森でのトレッキングと竹を使った自由工作です。トレッキングの登りは、冒険コースでロープを使わないと登れない険しいコースですが助け合って脱落者なし。山頂では、遠くに大阪の景色も見え一息つきました。下山後は竹を切って、ペン立てや花瓶な

どを作りました。竹槍を作る生徒も何人かいました。また、竹の楽器を作った生徒もいました。あっという間に午前いっぱいの授業が終了しました。後日、生徒のみなさんから、お礼のメッセージをいただきました。

## 2月21日(火)陵ヶ岡小学校 里山学習 in みささぎの森

第4回は、環境について学校での座学です。



前半は、生態系、生物多様性、ゴミ問題（江戸の循環社会に学ぶ）、地球温暖化とエネルギーについて学びました。そして後半は、第2回の自然災害や防災の学びを含めて、環境の未来に対して、五年生の今、出来ること、将来やってみたいことを書き出して共有しました。黄色の付箋に今出来ること、赤色の付箋に将来したいことを書き、グループで共有し、最後にホワイトボードに貼り付けて、みんなで共有したところ、予

想以上に沢山の意見がでてホワイトボードがいっぱいになりました。

意外にも将来ボランティアをしたいと言う意見多く、何故今出来ないのかと聞くと、五年生だと興味があっても子どもだけでは参加出来る機会が無いとのことで、桂川クリーン大作戦（2月26日開催）のような機会を作っていく責任を感じました。頼もしいばかりです。

来月最後の回は、みささぎの森でのトレッキングです。春の訪れを楽しんでもらえたら嬉しいです。

## 宇治市立南部小学校 ひょうたん池の改修

2023年1月21日（土）

昨年の3月と5月に続いて今日は3回目のお掃除です。南部小学校保護者有志の方の声掛けにより生徒と保護者の方、そして卒業生も駆けつけ、30名以上の方々と、“ひょうたん池”の水を全部抜いて、生き物探しと清掃を行いました。池のそばにそびえ立つニレの大木は夏の間は大きな木陰を作ってくれますが、冬には多量の落ち葉で池を埋めてしまいます。今日は、その落ち葉で汚れた池の水を抜いてポンプで排水し、バケツでヘドロを掻き出しました。



水が無くなる前に、たも網でドロをかき上げて生き物バットに取り込んで観察をしました。確認できた生き物は、前回とほぼ同じギンヤンマとイトトンボのヤゴ、ゲンゴロウの仲間、ユスリカ（赤虫）、ミズムシ、ヒル、サカマキガイ、イトミミズ、そして、魚類モツゴ（クチボソ）でした。 以上